

ヨハネの黙示録 第2章 14節

「あなたがたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。見よ。悪魔はあなたがたをためすために、あなたがたのうちのある人々を牢に投げ入れようとしている。あなたがたは十日の間苦しみを受ける。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」

忠実さは何もないところでは見えてこない。あなたがたが受けようとしている苦しみに、迫り来るものがある。それがあなたがたを苦しませる。背後で苦しみを司るものがある。ここでは、悪魔が、と明言する。苦しみをもちてあなたがたを試すという。何が試されるのだろうか。投獄までしてあなたがたを試すという。

試されるのは、苦しみに直面する、投獄されるあなたがたである。試されるのは忠実さである。何かを成し遂げる力の有無が試されるわけではない。何かに打ち勝つことが試されるのではない。試されるのは忠実さである。誰もが持ち得ることである。ただ、死に至るまで忠実でありなさい、と言われると、逆に誰にも成し得ないことである。

だから続けて「そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」わたしといわれるお方が死に至るまで忠実な僕としてくださる。それで、初めて苦しみを、死を恐れてはいけない、とわかる。

2023年10月10日